

 関西 労災・職業病	
No. 6 74. 10. 10	
関西労働者 安全センター	
大阪市北区菅栄町59 日レコビル2F 内 岩井会 TEL 06 (358) 2583 郵便振替口座 大阪 315742	

七四秋斗を闘いぬき  
 職場安全活動の強化を

編 集 部

関西労働者安全センターは9月7日・8日と二日間にわたり、  
 南大阪でセンターの運動の視点と組織強化のための討論会を開い  
 た。関西労働者安全センターに結集する労働者・技術者・学生、  
 研究者の諸君、この討論会の成果をふまえ、今秋斗を強化し、関  
 西労働者安全センターおよび地区・大学センターの組織強化をは  
 かる中で、第三回労災・職業病を闘う関西集會に結集しよう。

関西労働者安全センターの

組織強化を

怠慢な労働行政が発表する一年間の労災被災者数ですら百七〇  
 万人を越し、職業病の罹患者はそれ以上であるといわれる。それ  
 ゆえに広範な労働者階級の切実な問題として、労災・職業病にか  
 からない闘争、傷ついた仲間とその家族を救済する闘争は必要と

されている。

関西労働者安全センターは労災・職業病斗争、安全斗争を具体  
 的に協同して進める機関として設立された。関西労働者安全セン  
 ターは、現場労働者の安全斗争を母体に作られる地区労災職業病  
 対策会議と、現代科学の労働者・人民に対する犯罪性を追及して  
 闘う大学・地域の技術者、研究者、学生の運動体との共同斗争体  
 である。

センターの組織強化は、現在なによりも、構成する地区・大学  
 のそれぞれの運動体の組織強化と共同斗争の強化のうちにすすめ  
 られねばならない。

労災・職業病斗争とは

労働者階級への資本の攻撃は基本的には労働者の労働力を収奪  
 していくものである。しかし、その現われたるや、千差万別の形  
 態をとっているものであり、労災・職業病もその一つである。

労災・職業病の根源は、資本が労働者を金もうけの道具として  
 こき使う所にある。この事は、労災・職業病への闘いは、労働者  
 階級の資本家階級に対する闘いであり、決して科学・技術上の問  
 題ではないことを示している。

労災・職業病の問題を、基準量・許容量あるいは治療・補償の  
 みの問題として、「解決の糸口」を引き出す考え方は、労災・職  
 業病が階級的矛盾としてある事実を陰翳する資本の論理である。

労災・職業病への労働者階級の闘いは、労働者を商品として使  
 いする資本主義的生産様式の解体に向けた闘いであり、賃労働  
 災害労働から解放し、労働を自分達のものにする闘いである。

## 認定・補償斗争をいかに闘うか

今日の社会で、労働者がひとたび労災・職業病にかかると、資本は羅患者を「労働力廃品」として、資本主義社会のゴミ箱にすてようとするであろう。資本家は、「労働力廃品」を他の健康なつまり能率よくもうかる労働力と置きかえることによって、資本主義的生産をより効果的にくりかえしている。

この事実は、いわゆる賃労働の極限形態が「労働力廃品」としての労災・職業病羅患者の内にある事を示し、賃労働はその意味で災害労働の上に成り立っているのである。

労災・職業病になった時、その労働者はすでに負けの立場にあるといえる。労災・職業病になった所からしか出発しない斗争は労災・職業病の根本である生産点を問わない保障斗争である。

関西労働者安全センターは、この間地域における共同の学習会、労基局に対する共同斗争などを通じ、資本・行政の反労働者性を明らかにしてきた。そして、資本に対する補償斗争、行政に対する認定斗争を職場・地域における安全斗争Ⅱ災害源除去の闘いの徹底化に向けて運動を展開してきた。

## 災害源除去の闘いとは

関西労働者安全センターの運動の基本方針は災害源の除去の闘いである。災害源除去という予防の斗争こそ、階級的労働運動の潮流の主要な一課題である。

災害の発生源に向けた闘いは、資本の安全対策と根本的に異なる。資本家の言う安全対策とは、健康な労働力を確保する手段で

ある。そこには、改良はあっても、決して災害源の除去はありえない。資本主義的生産様式は常に災害源の存在を必要としている。労働者階級の災害発生源に向けた斗争は、労働者が労働によって傷つき、殺されることを無くす闘いである。

災害源とはきわめて具体的なものであり、労働者が生産点において、経験と直観から危険と感ずるものである。労働者はこの具体的な災害源と対決する時、資本主義的生産様式の根本矛盾として、階級的な立場で、災害源を実践的に認識する。

労働者は闘うことによって、資本家への憎しみを階級闘争の理論として育積していく。正に、災害源が資本主義的生産様式の根本矛盾であるがゆえに、災害源除去の闘いは、すぐれて労働者の(具体的な安全斗争の中で鍛え抜かれた)階級的自覚の斗争である。

## 七四秋斗に向け、運動の強化を

秋斗の中で、安全斗争が関西の全金、全港湾を中心とする労働者の中から取組まれている。全港湾建設支部では秋斗の中で安全委員会を結成し、労災・職業病斗争を組織的に取組みつつある。

労災・職業病斗争は、賃金を含めた労働者階級の基本的要求の斗争の一形態であり、決して特別な、専門的な闘いではない。

労災・職業病問題をことさら難しいことにデッチ上げ、専門家を作り、広汎な労働者の日常の闘いと切り離すことを考えてきたのは資本家階級とそれに追従し屈服する一部の者である。

この秋斗の中で、どんな小さな災害も見逃さない職場、支部、地域での安全委員会を組織、強化し、その成果をもって、関西労働者安全センターを強化し、第三回関西集會に結集されたい。



それをささえる地域共闘の強化か、行政を一步一步追いつめていった。この闘いの前進にこそ、関西労働者安全センターのめざす「労災源除去」の闘いも求められうるにちがいない。

### 大阪での労基局 追求

9月27日、南大阪労働対を中心に労働者百十名が大阪労基局につめかけ、これまでの犯罪的な労働行政を糾弾し、労災認定闘争をくり広げた。

大阪労基局は、これまで全造船佐野安分会の安全対策を企業とぐるになつて怠り、昨年末、3名の下請労働者の命を奪い、1人の分会員を廃人にした。しかも分会員大岩さんは、倒れるまでじん肺に冒されている事を知らなかったという。

佐野安分会の労働者が、半年間も大岩さんを放った責任と、じん肺検診をしなかった責任、しかも大岩さんがじん肺でなく結核だと断言した責任を追求するや、労基は「ノロノロ、グズグズの逃げ腰対応しかなかった。そればかりか、安全課長は「労働者の指図には従はない」とか「こんな陳情はない」とわめき、怒った労働者に、ひきずり出されても、「(機動隊)を呼べ。」と居直った。混乱の末に、次長が顔を出した。次長は、労働者の味方づらをし、欺瞞的対応をした。

そして、佐野安の大岩さんのじん肺は認めしたが、新幹線保線作業をじん肺作業に適用することは拒否した。

今回の団交は、南大阪の労働者に、労基局は労働者の言うとおりにさせるべき所だという事を教えた。

今後に関西労働者安全センターは労働行政への共同闘争をすすめていく。

### 関西労働者安全センター

大阪市北区菅栄町59 日レコビル2F 岩井会内

TEL 〇六(三五八)二五八三

### 七四秋斗における

### 南大阪の金属の安全闘争

### 機械金属労働者の

### 安全闘争の現状

機械金属産業における、労災・職業病は、多発傾向にあるにもかかわらず、経済闘争に比べ取組みが不十分であることが指摘される。

これは、労働者が労働力を維持する闘への基本的権利の認識が不足していること。そして、安全確保の闘いは、予防闘争でなければならぬものであるが、災害発生後の処理闘争となっている現状と補償金獲得に目的が変質しているところに問題点がある。

労災・職業病の発生状況は多発傾向と同時に一部現業職場だけでなく工場内のあらゆる職場、非現業職場においても広範囲に発生している。労働をするところに必ず労働者が健康を害されている。

したがって労働の場を提供する企業に労働者の安全を確保する責任と義務があり、労働者は安全を守るために具体的事実に基づいて企業責任を厳しく追求する権利がある。

このことをふまえ、企業側の攻撃の手段である労働者個々の不注意論を克服しなければならぬ。安全闘争の中心を労働者の基本的権利に基づく予防闘争として位置付けて、労働者全体が、日常的に命と健康をそこの労働・職業病の発生を予期して、それ



らの発生要因を徹底的に点検調査を行うことが重要である。そして、企業意識をはねのけた大胆な要求を行い、実力闘争を背景に安全対策を推進させ、労災・職業病の発生を事前に防止する闘いを組織することが重要である。

### 全金田中機械の

#### 秋斗における安全斗争

そのためにも、われわれ全国金属田中機械支部は、秋闘の安全斗争を日常活動の軸として次の点に置いた。

- ①安全確保のため、職場点検闘争を大衆的な職場闘争に発展させる。
- ②安全委員会を企業の下請機関から、労働者主体の安全確保、災害予防のための機関にし、最底月一回の会議を行う。
- ③安全パトロールを重視し、安全委員および組合役員合同のパトロールを最底月一回定例化し、他支部役員や専門家を交えた組合独自のパトロールの自由立入りを行う。
- ④危険、有害を察知した場合は、直ちにその部門の操業停止を行い、職場環境改善、作業条件、健康診断、精密診断等の健康管理を合せて行う。
- ⑤労災・職業病をこらむった場合は、労働者の立場での現認書を作成させ、資本側の業務外の明確な立証がない限りすべて労災扱いとする。基準監督署が認定しない場合においても企業が労災扱いとすることを認めさせず。
- ⑥労災での療養期間中の賃金保償はもろんのこと、体の機能が一部不能になった場合は、不能の程度に基いて正常な生活

水準を維持できる補償を行わせる。不幸にも死亡災害にあった場合は家族及び扶養者に対し生活が維持できる補償も行わせしめる。さらに、完全治療、不利益取扱の禁止、解雇制限等の諸権利確得を目指す闘いを強化する。

以上の力点を確認し、今秋闘の質的強化をはかり、春闘で発揮した闘争力をさらに強め雇別統一闘争を前進させ、この闘いを年末一時金、七五春闘へと発展させていこう。

#### 総評全国金属労働組合

大阪地方本部 田中機械支部

大阪市港区南市岡3丁目6番26号

TEL 〇六(五八一)五三五

### 全金三豊、第一段階の勝利す

合理化提案の出された七二年二月以降、実に2年半にわたって、神鋼資本の全員解雇、工場閉鎖の破産法攻撃に反対して斗争を展開してきた三豊斗争は、この9月21日に滋賀地方労働委員会の場で協定書を取り交し、その斗争の第一段階に勝利を収めた。

三豊斗争はその過程において、労働行政と資本のゆ着を暴露し、地域の人々との共闘、全金大阪・兵庫・京滋各地本との共闘がこの第一段階の勝利の大きな要因となったことを示してきた。三豊斗争は多くの教訓と影響を他の斗争に与えたと言えよう。

全員雇用の約束を勝ちとった現在、「完全雇用」の闘いに向け直ちに体制を一段と強化することが要請されている。

(詳しい報告は次号に掲載の予定) 編集部

\*\*\*\*\*  
職場・地域・学園から  
\*\*\*\*\*

編集部

#####  
尼崎で、労災・職業病斗争の  
交流集会開かれる  
#####

8月29日、尼崎労働福祉会館で労働者健康協議会主催の「第5回労災・職業病と闘う交流集会」が、尼崎での全金を中心とする労働者約80名を集めて開かれた。

集会は、兵庫労働者安全センターの山崎氏、北摂労対の豊田氏、南大阪労対の林氏、阪神医療生協の赤田氏のあいさつで始まり、北部九州安全センターからの励電が紹介された。

つづいて、労健協の事務局・山下氏より労健協の活動経過と集会の基調が報告された。集会の基調は、①災害源除去への闘い。②無権利状態にある未組織労働者との連帯と組織化 ③地域共闘の強化拡大 ④職場安全活動の強化、であった。

その後、全金富士鋼管支部から職場安全活動、田口氏から肺炎の認定斗争、中村氏から在日朝鮮人、鄭さんの認定・補償斗争への支援の報告があり、討論にうつった。

討論においては、各職場の安全斗争の経験、パトロールのあり方などが熱心に交換された。

最後に、関西労働者安全センターへの結集と第三回集会への参加の呼びかけが、労健協代表・藤井氏よりあり、今後交流集会をかきねていくことを確認して、集会を終えた。

(た)



北摂じん肺共闘へ第一歩

9・17じん肺学習会開く



北摂労災職業病対策会議に結集する国労大阪新幹線保線所分会大幸銘飯労組、全港湾建設支部治水分会、高槻市交通労組等の労働者約50名が集まって、19日夜、高槻でじん肺学習会が行われた。この学習会は北摂地区での粉塵職場の現実に切りこむべく、北

摂労対が「北摂じん肺共闘」の第一歩として行ったものである。当日は、スライドを使った「じん肺症」の解説、そして「じん肺法」に関しての講義が、阪大労働研、京大安全センターからある。その後、三年にわたって「じん肺斗争」を闘っている国労大阪新幹線保線所分会から、斗争の報告とアピールが行われ、参加した各労組からの報告をうけた。全港湾建設支部治水分会では防波堤に使うテトラポットの鋳型の金属のサビ落し作業で、もうもうと舞い立つ粉塵と耳をつんざく騒音の中での労働を強いられる。サントリーの下請けで、ウイスキーのしぼりカスをし料に加工するサングロスでは、労働者は抗生物質入りのし料粉塵を毎日吸いながら働いている。こうした職場においてすら、安全衛生の指導は全くなされず、労働行政など言葉だけにすぎない。

職場労働者の闘いによって、こうした現状をうち破るべく、学習会では、次の二点を今秋闘での基本方針として確認した。①じん肺法の指定を克ち取る。②じん肺患者の永久保障体制を確立させる。

最後に、今後も連絡を取って闘って行くことを確認し、当面、9月27日に行われる大阪労基局交渉の場で統一要求をよつけて行

ことを決定した。

### ((( 第三回医学生ゼミナール開かる )))

第13回医学生ゼミナールが、9月22・23日京都大学の医学部を中心に、約三百名の医学生・医師が参加して行われた。医ゼミは毎年一回、全国の医学生・医師を中心に医療労働者と医学生の課題をテーマとして行われているもので、医ゼミ実行委、医学連の主権による。今年はメインテーマとして「福祉幻想の中の医療」をかかげ、二日間にわたって熱心な討論がかわされた。

第一回目の総会では、尼崎労働者健康協議会の山下五郎氏が、「労災職業病と近代医学批判」と題して講演があった。山下氏はこれまで医学生の運動の中ほとんど取り上げられていなかった労災・職業病の問題を提起し、その疾病構造の階級的分析を踏まえ、災害源除去の闘いの方向を語った。

午後からは分科会に分かれての討論が行われた。その中で労災・職業病の問題は第二分科会で取り上げられ、京大・阪大労職研、京大安全センターより報告、アピールがあり、第一日目を終った。二日目の午前中、前日にひきつづき、第二分科会では、報告をふまえた討論が行われ、反公害斗争にかかっていた。医学生の立場と、今日非常に問題となってきた、被害者の運動とそれにかかられる医者・研究者の運動の対立・矛盾に討論が集中した。政府による「公害基金法」等の福祉幻想による分断攻撃に対していかなる闘いを組んで行くのか。反公害斗争ばかりではなく、労災・職業病斗争においても問題となる重大な課題であろう。医ゼミは、その後、午後から総括集会を開き、二日間の会談を終えた。

(二)

☆☆☆☆

### 京大時計台職員有志の

### 闘いに連帯を

☆☆☆☆

我々は、風休みさえも上司の命令で、タダでコキ使われる劣悪な労働条件に耐えかねて、今年一月から「風休みを保障しろ」という要求を出しました。1月22日秘書室前で貼り紙をする事から、我々の斗争は始まりました。

「一時から会談が始まる為に、職員は風休みまでも犠牲にさせられて、コキ使われるのだ」という主旨の貼り紙です。ところが、大学は反省するどころか、我々を虫ケラ同然の扱いをし、追い払おうとしました。我々はこんなあたり前の事さえも保障せず「人類進歩の為の学門・研究」という美名にのさばる大学の横暴・教授の高慢さに怒りを感じ、あらゆる手段を講じました。その甲斐あって、4月19日「風休みを保障する」という主旨の通達を出させる事が出来、一応は勝ち取った訳です。その後、具体的に保障させる為、庶務部長と最後の詰めの交渉を重ねて来ました。

ところが、6月になって、減給処分を受けました。この弾圧の本質はストライキ処分ですが、大学は「欠勤したから、賃金カットした。」と事務的措置の装いを凝らしています。そして4月11日の「安全センター団交参加時間」までも欠勤扱いをしています。我々はこの様な欺瞞を、様々な角度から暴露し、不利益処分は絶対許さない。ストライキ処分撤回を勝ち取ると共に、大学に、今まで風休みまでも職員をタダ働きさせて来た、という事についての責任を取らせ、風休みの完全保障を全学に徹底させてゆきたい。

(三)

## 労働安全衛生法批判

(下)

(文責) 尼崎労働協 山下・清水・足達)

### 六 個別的批判

- ① 目的の項で、快的な作業環境の育成という努力目標一般で  
労基法第一条二項より、はるかに後退している。
- ② 事業主の責務に於て、国の責任がすっぱり抜けて行政的歯  
どめがない。
- ③ 安全衛生管理体制が技術問題にされ、労働条件について放  
棄されている。
- ④ 安全衛生委員会が「選任」から、指名にかわり、専権の色  
彩が強い。
- ⑤ 機械等に関する規制の中で、婦人の危険業務禁止が削除さ  
れている。
- ⑥ 特別措置としての災害発生要因が、下請労働で発生してい  
ることに對する無策。
- ⑦ 就業禁止で、前号の通りである。

### 七 労働安全衛生法に對する

斗いとは

労働安全衛生法は、上・中に述べた如く、まずその批判を原則として持たねばならない。その上で、活用する所は活用すればよい。労働安全衛生法については、まずその思想的背景をしっかりと

持ち、労働省が次に何を出してくるか考えねばならない。それは明らかに、労基法改悪の敷石であろう。現在の労安法は、病者就業禁止にみられる、保安処分体制と、婦人労働者の諸権利のはく奪であり、労働条件と切り離された技術的思考による安全法の考への三点にある。

労安法に對する斗いとは、第一に職場安全衛生は労働条件の問題であること、第二に婦人労働者への権利剥奪に對し斗うこと、第三に病者就業禁止にみられる企業保安処分と斗うことである。

### 八 産業医大設置構想を反

反對しよう

労安法の目玉商品は、産業医大の設置にある。すでに、北九州・大阪・静岡の各労災病院の大学昇格を実務化しはじめている。産業医大の設置によつて、全ての認下が大学におかれ、育成された医師は、労災病院に配置され、一層の権限が集中され、労災・職業病斗争を封じこめるであろう。労安法の目玉商品である、産業医大設置に對し、医学連の学生の支援を得てこの設置をつぶしてしまおう。







